



横浜市の長浜地区には、明治時代につくられた長浜検疫所の入り江の一部が汽水の池として残り、周辺の緑との環境について考える長浜の緑を守る会が組織されており、市はこの会と意見交換を重ね「長浜公園・野鳥観察園」が整備された。公園化にあたっては汽水池を取り込み、淡水池、水鳥の採餌場となる干潟、食餌木を取り入れた樹林地、砂れき地、葦原などを配置した。園内は飛来する野鳥のために立ち入りを制限した場所を大きく設け、周りに四か所の観察小屋を設置して野鳥から距離をとって観察を楽しめるようにしているほか、水辺で遊べる空間として、淡水池の上流部を開放している。市民グループによる野鳥観察会も行われており、一般の利用者を対象にした観察指導も行われている。

DATA・BOARD ④

- ①神奈川県横浜市金沢区長浜106-9
- ②面積：7.9ha
- ③汽水池、淡水池、干潟、砂れき地、芦原、観察小屋ほか
- ④自然石、植栽ほか
- ⑤野鳥観察会

